

## 尿道結石症の陰囊前方切開による治療方法

肥育牛の尿道結石症治療として、陰囊の前方を切開して治療することにより、手術は簡単に短時間に終了することができる。

また、結石の除去方法は、その状態により手指、カテーテルおよびペアン鉗子による破碎排出の3手法が用いられ、手術後の経過も良好である。



図1 横臥保定



図2 皮膚切開部位



図3 ペアン鉗子による結石の破碎除去

### 【手術方法】

1. 病牛軽く鎮静し横臥させ、ロープで四肢を前後に伸展させる。(図1)
2. 局所麻酔をかけた後、陰囊前方で乳頭の中間を約15cm切開し、陰茎の外部から結石を確認する。(図2)
3. 結石排除方法  
(ア) 手指による方法
  - a. 結石がもろい場合や小さな結石が集積している場合に適用する。
  - b. 結石がもろい場合は指でつぶす。  
小さな結石が集積している場合は陰茎を伸ばす様にし集積をほぐす。  
(イ) カテーテルを用いる方法
  - a. 小さな結石が強固に集積している場合に適用する。
  - b. カテーテル(図4)は、人工授精用シース管などを用い、皮膚切開部位より包皮を切開し、亀頭を露出させ、尿道の出口から挿入する。  
(ウ) ペアン鉗子を用いる方法(図3)
  - a. 比較的大型で硬い結石に適用する。
  - b. 尿道外部よりペアン鉗子(図5)で結石をつぶす。
4. 結石が尿と共に排出したことを確認し皮膚を縫合する。

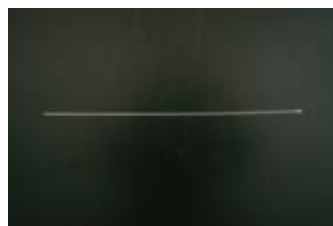


図4 カテーテル



図5 ペアン鉗子

### 【手術のメリット】

1. 手術は簡便であり、短時間で終了する。また、再手術も可能である。
2. 手術後長期間肥育することができる。